



# 米子市ケアプランデータ連携システム 普及促進支援事業(令和6年度)について

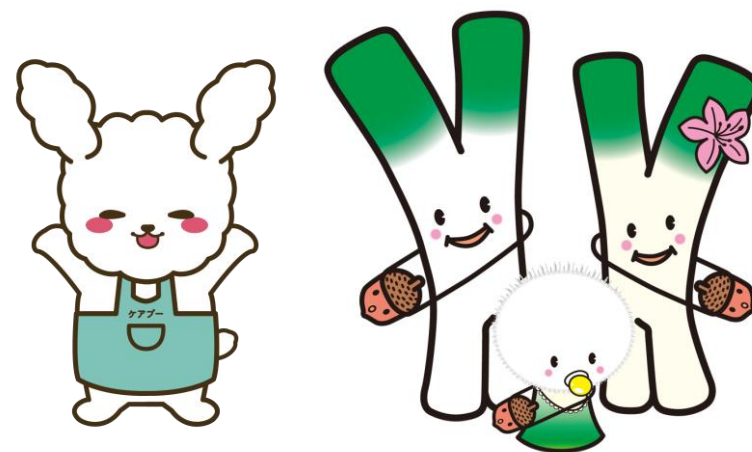
令和6年12月4日

鳥取県米子市長寿社会課

# 目次

1. 米子市について
2. 施策取り組みの背景
3. 施策内容
  - (1) ケアプランデータ連携システムの導入・活用状況の調査（実態把握）
  - (2) 関係機関及び地域包括支援センターと連携したアプローチの実施
4. 今後の展開
5. これから施策を行う自治体の皆様へ

# 米子市について



# 米子市の概要（令和6年10月1日時点）

鳥取県の西部、山陰のほぼ中央に位置し、大山や日本海に囲まれた豊かな自然環境に恵まれた街です。

## ■ 第一号被保険者数等

43,032人

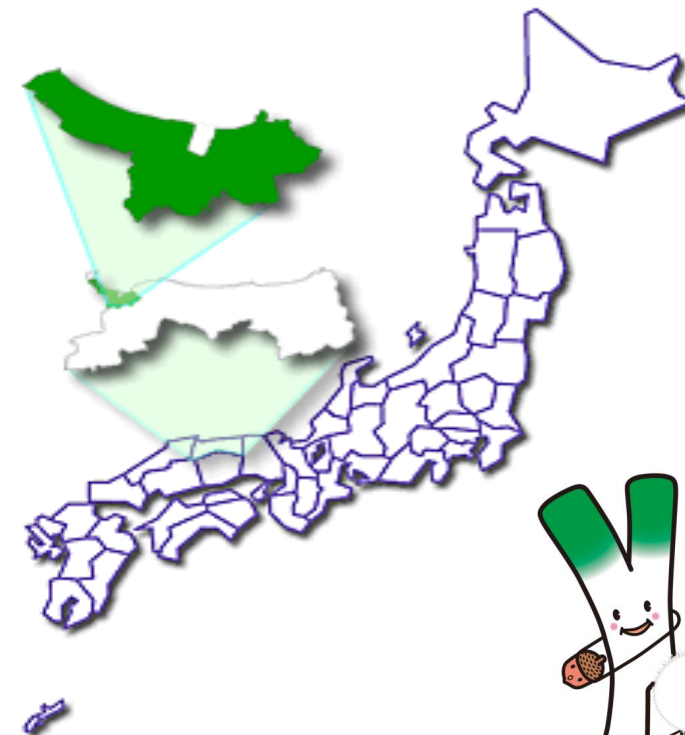
（うち65～74歳:18,279人、75歳以上:24,753人）

## ■ 要介護認定者数

8,955人（第一号被保険者数の20.8%）

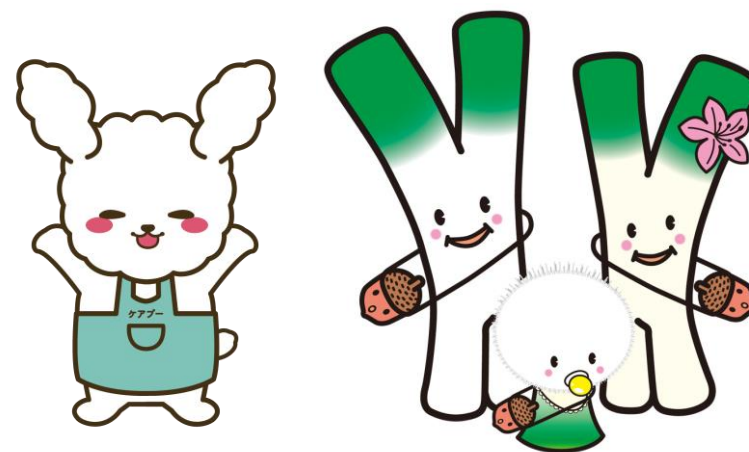
## ■ 介護事業所数

事業所種別	事業所数
居宅サービス	224事業所
地域密着型サービス	81事業所
施設サービス	35事業所
居宅介護支援	32事業所



ヨネギーズ

# 施策取り組みの背景



# 本市のケアプランデータ連携システムの導入状況

令和6年7月12日時点

336事業所中 69事業所（導入率20.5%）

しかし…

○ ライセンス新規申請件数の推移は…

2023年				2024年	
4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月
56件	2件	0件	6件	4件	1件

○ そのうち大型法人が…

A法人 9事業所 B法人 14事業所 C法人 4事業所

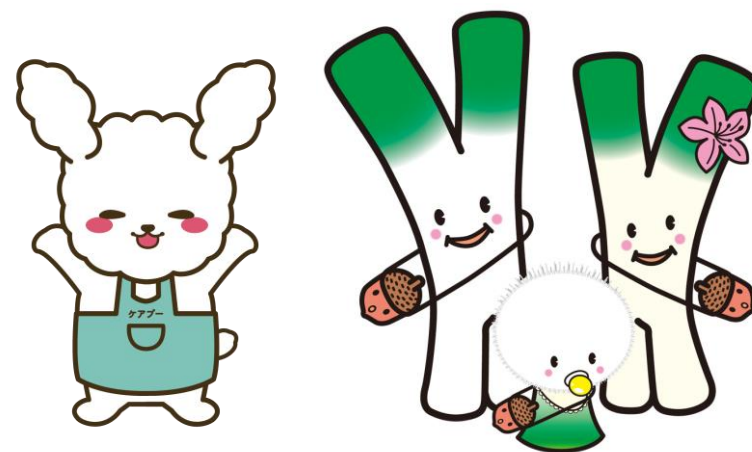
大型の法人の一斉導入による導入率の高さ

導入件数の頭打ち

導入済事業所では活用されている？

普及促進・活用促進に向けた取組の必要性があるのでは？

# 施策内容



## 施策の詳細

- ケアプランデータ連携システムの導入・活用状況の調査（実態把握）
- 関係機関及び **地域包括支援センター** と連携したアプローチの実施



# ケアプランデータ連携システムの導入・活用状況の調査 (実態把握)

## 1 概要

ケアプランデータ連携システムの導入状況及び活用状況に関するアンケート調査

## 2 回答結果

配布307事業所・回答151事業所 (回答率49.2%)

## 3 依頼方法

依頼文を郵送またはEメールで対象事業者へ送付

## 4 回答方法

とっとり電子申請サービスによる回答

## 5 調査項目

システム導入の有無

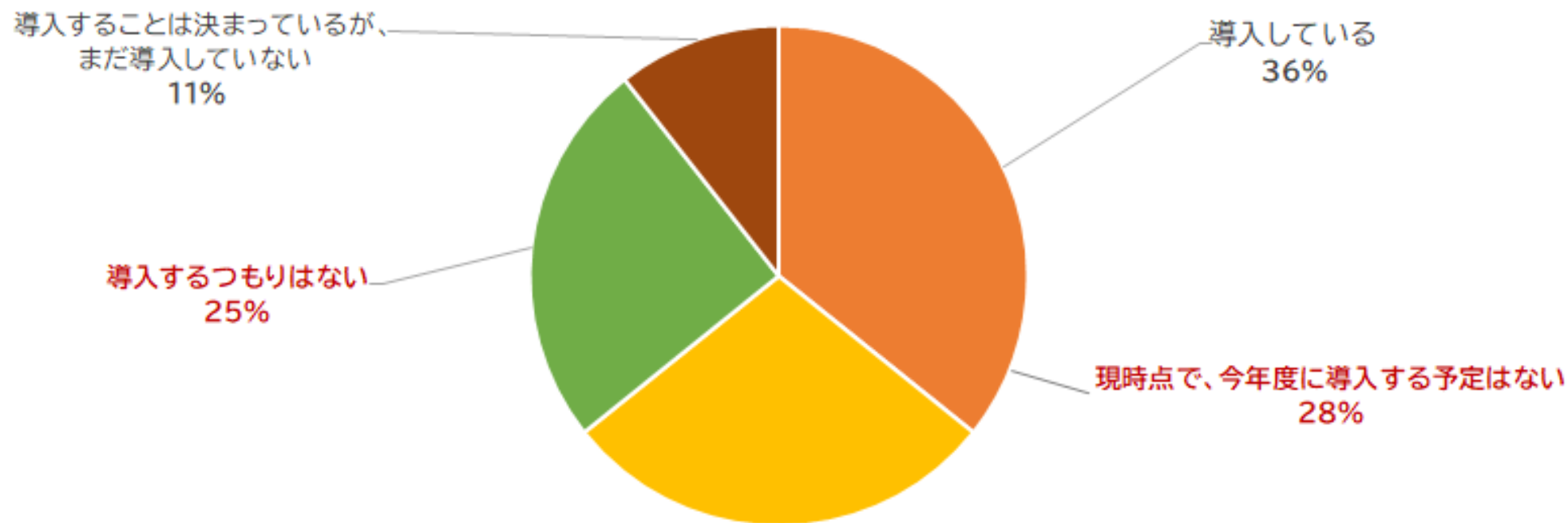
【導入済事業所】 導入理由、活用状況、活用できていない理由、現在利用している介護ソフト、普及を希望する他事業所 等

【未導入事業所】 導入予定時期、未導入の理由、現在利用している介護ソフト、普及を希望する他事業所 等

# アンケート結果（①導入状況）

## 【質問1】

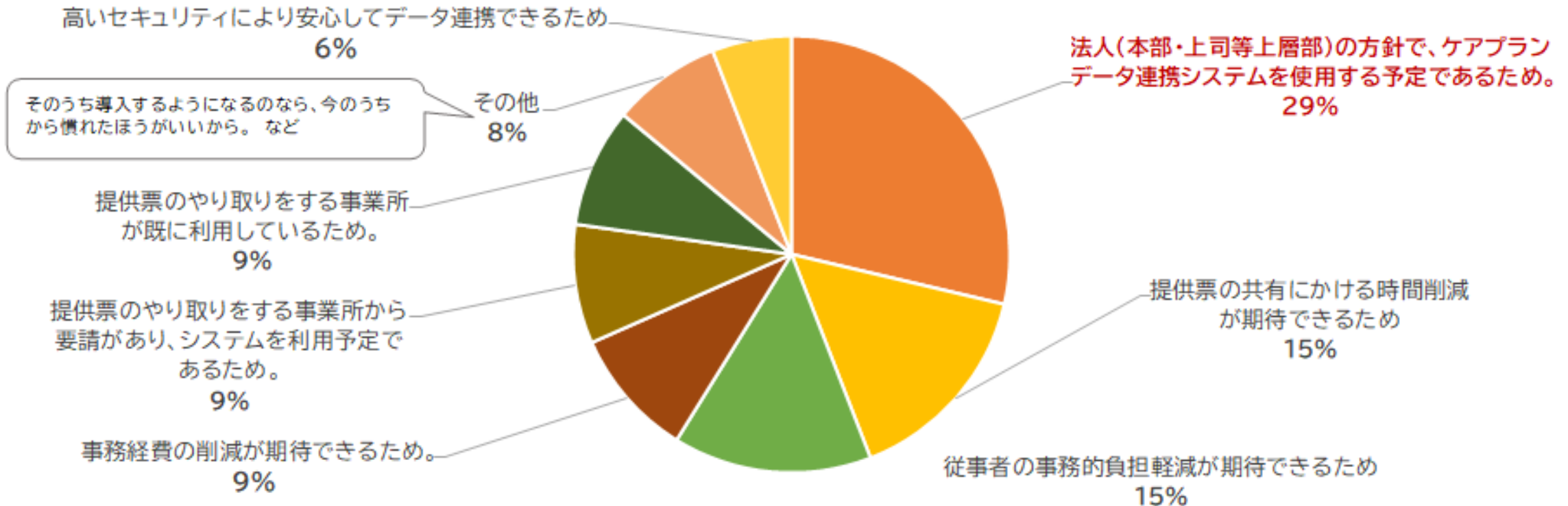
ケアプランデータ連携システムの導入状況について教えてください。  
(1つを選択)



# アンケート結果（②導入の理由）

## 【質問2】

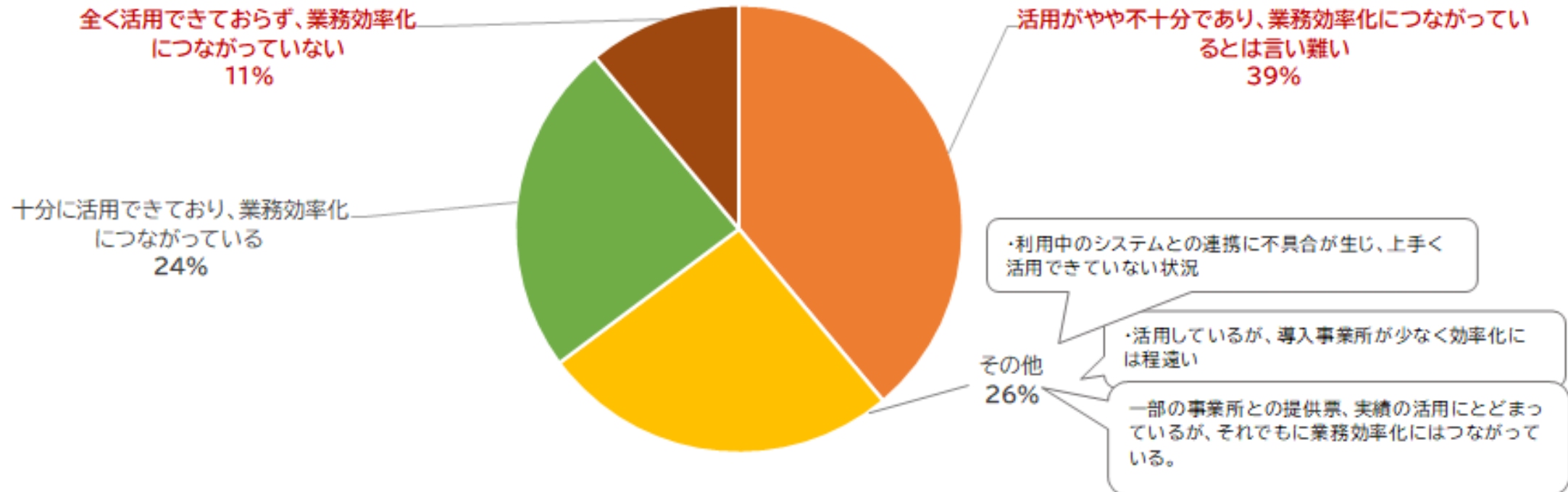
質問1で「1導入している」または「2導入することは決まっている」を選択した場合、導入した又は導入を決めた理由を教えてください（複数回答可）



# アンケート結果（③導入済事業所の活用状況）

## 【質問3】

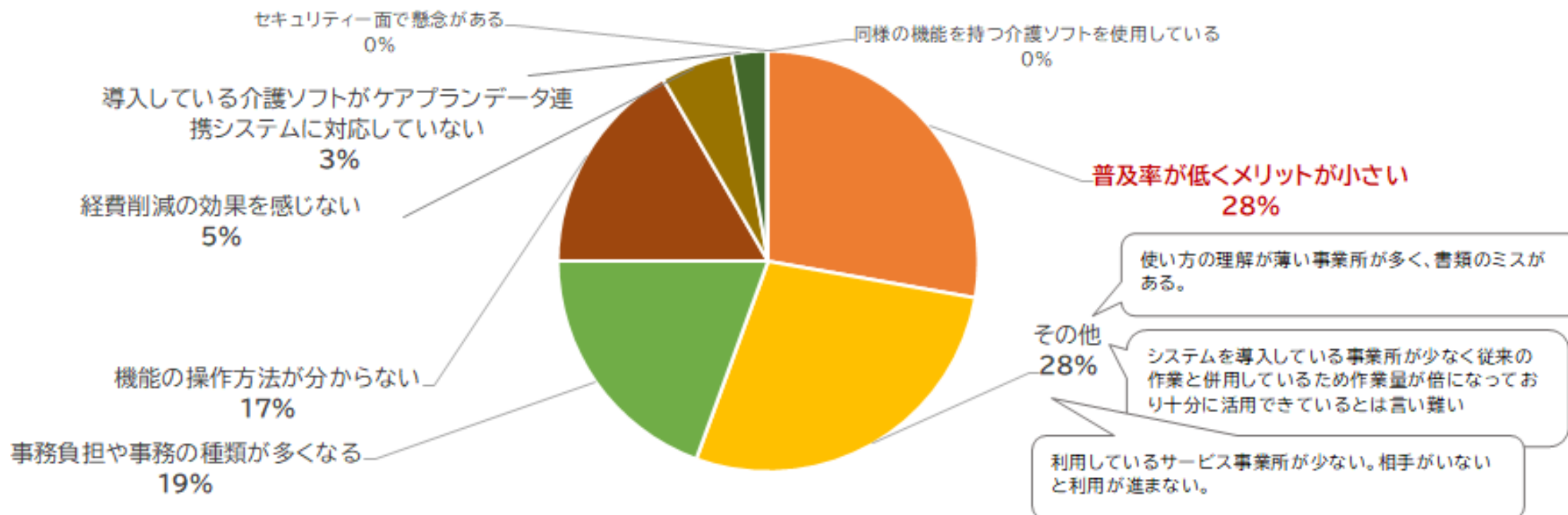
質問1で「1導入している」を選択した場合、  
活用状況について教えてください（1つを選択）



# アンケート結果（④活用が不十分な理由）

## 【質問4】

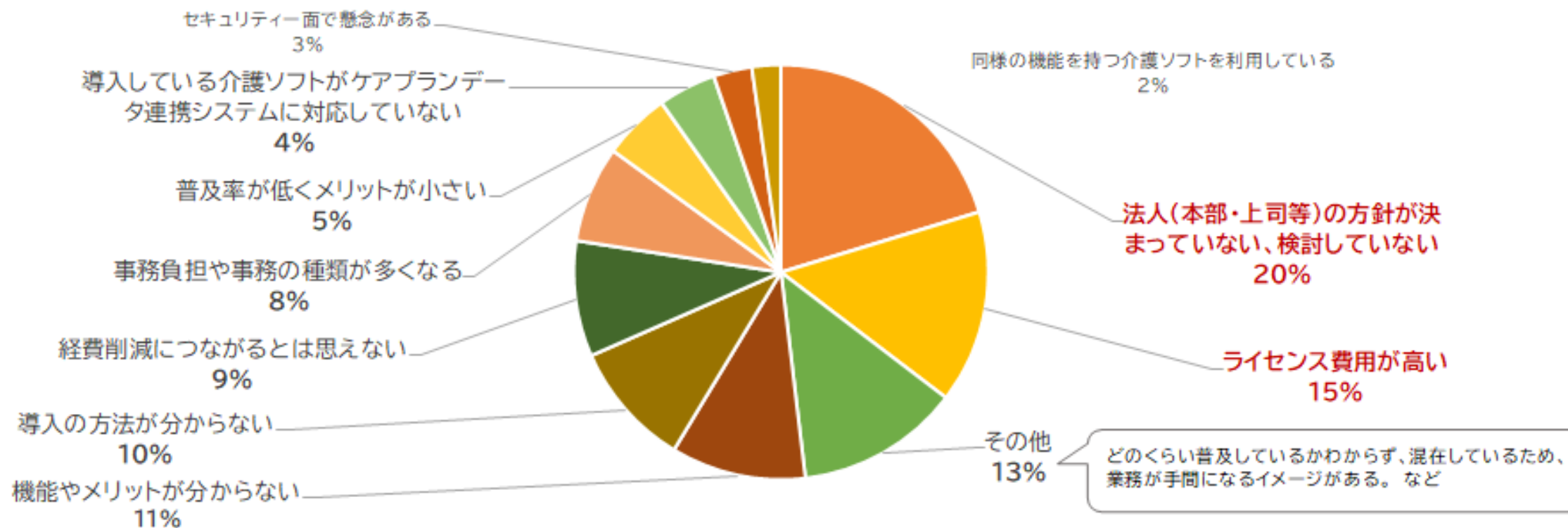
質問3で「2活用がやや不十分であり、業務効率化につながっているとは言い難い」または「3全く活用できておらず、業務効率化につながっていない」を選択した場合、その理由を教えてください（複数回答可）



# アンケート結果（⑤未導入の理由）

## 【質問5】

質問1で「3現時点で、今年度に導入する予定はない」または「4導入するつもりはない」を選択した場合、その理由を教えてください。（複数選択可）



## アンケート結果（自由記述） ※一部抜粋

- システムに関して勉強不足なため、研修等に参加する機会をいただきたいと考えております。
- 小さい事業ではコストをかけてまで導入するメリットはほとんどないと考えます。  
結果、導入しているほとんどが複数事業所を持つ大きい法人になっているのだと思います。
- 担当者にとって不安が大きいため導入のタイミングを計っています。実際に導入事例をご紹介いただく機会などがございましたら、事務担当者の心理的な負担感を軽減できるのではないかと思います。
- 早々にシステムを導入したが、関係している事業所がほとんどシステムを使用していないため現状非効率。
- 仮に8割以上の事業所が当該連携システムを運用すればその効果は実感できると思うが、5割程度であればその効果は薄れ、事務作業は煩雑になります。
- 難しそうなイメージがありましたが、導入してみると大変便利で、効率的だと感じました。
- システム自体について情報不足で導入への判断がつかない。
- まだ導入手続き途中ではありますが、すぐに導入できるものではありません。国保連に連絡したり、電子請求用のID発行等たくさんすることがあります。セキュリティーのためには必要だと思いますが、もう少し簡潔に導入が出来るとう助かります。導入後は、業務を円滑に行うために業務改善を行っていきたいと考えています。
- 利用事業所が増えれば業務効率はもっとよくなる。  
実績入力の負担軽減が出来ることや、ケアプランをPDFで送付出来るなどメリットはある。

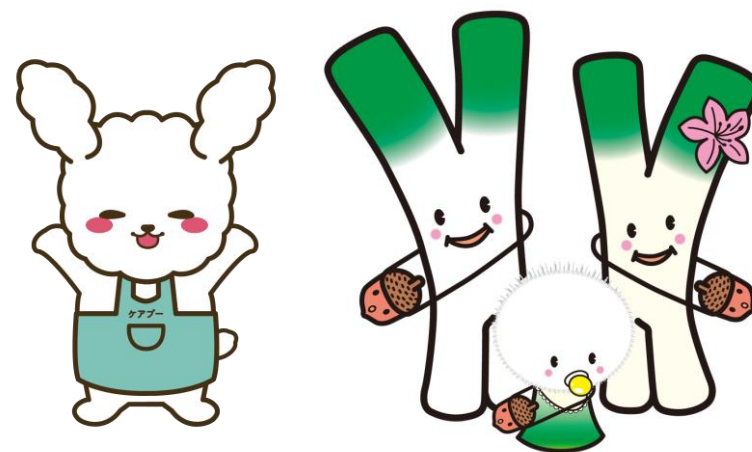


## アンケート結果まとめ

- 普及率の低さが導入率の低さの要因になっている
  - ➡ ここから導入率を上げるためには、規模や運営実態がさまざまな事業所に対し、「柔軟かつきめ細かくフォローする」ことが必要ではないか
- **導入済の事業所でも、十分に活用されているとは言い難い**
  - ➡ 導入事業所を増やしていくことと並行して、導入済事業所の「活用促進」にもつながる取組を実施してはどうか(導入の有無のみに捉われず、その先の活用を視野に入れた取組の実施)
- 法人さまへのアプローチの必要性大
  - ➡ 事業所へのアプローチだけでなく、法人さまへのアプローチも必要ではないか



# 今後の展開



# 方向性のイメージ

- 機能やメリットがわからない
- 導入の方法がわからない
- 普及の状況がわからない

- 経費削減につながるとは思えない

- ライセンス費用が高い

- 法人(本部・上司等)の方針が決まってい  
ない、検討していない

- 普及率が低くメリットが小さい
- 事務負担や事務の種類が多くなる

情報発信の充実

啓発の強化

補助の実施

周知・勧奨

普及率の向上

**詳細かつ丁寧な情報発信**

(導入の方法、普及率(随時)、問合せ先等)

**ライセンス費用の補助**

**法人(本部・上司等)  
に対するアプローチ**

段階的な  
実施

# 関係機関及び地域包括支援センターと連携したアプローチの実施 (①アンケート結果の公表及び関連情報の周知)

## ■ アンケート結果の公表及び、ライセンス料補助情報と研修会開催の告知

・ 市HPにアンケートの集計結果及び以下の情報・取組等を市HPに掲載し、回答協力へのお礼と併せ、各事業所に掲載URLを通知

- 現在の米子市の普及率等（随時更新）
- ライセンス費用21,000円の補助制度の案内 【鳥取県と連携】
- **米子市ケアプランデータ連携システム研修会**(1月開催予定)の開催 【鳥取県国保連と連携】  
(市内活用事例の紹介、システム操作体験、個別相談等の実施を予定)
- **ケアプランデータ連携システムに関する関連情報**

導入済だが、活用が十分にできていない事業所さまにとっても役立つ取組を実施

# 関係機関及び地域包括支援センターと連携したアプローチの実施 (②地域包括支援センターとの連携)

## ■ 地域包括支援センターと連携した個別アプローチ

- アンケート集計結果(全体及びセンター圏域別)を共有 ⇒ **圏域内・関連する事業所に対する導入勧奨**  
( 居宅連絡会や地域ケア会議など様々な機会を捉えた補助制度の案内や、研修会の参加勧奨等 )

	A包括	B包括	C包括	D包括	E包括	F包括	G包括
導入している	8	3	18	10	4	6	5
導入することは 決まっているが、 まだ導入していない	1	0	6	3	2	3	1
現時点で、今年度に 導入する予定はない	13	7	10	7	2	3	1
導入するつもりはない	10	8	12	4	4	0	0
合計	32	18	46	24	12	12	7

## その他（予定）

### ■ 市役所窓口での周知、案内

- ・ 未導入事業者に対する市役所窓口でのリーフレット配布、個別相談の実施等

### ■ さまざまな機会を捉えた事業所に対する周知

- ・ 居宅介護支援事業所連絡会(居宅・包括・小多機・看多機能)、集団指導(地域密着型サービス)、個別の訪問等

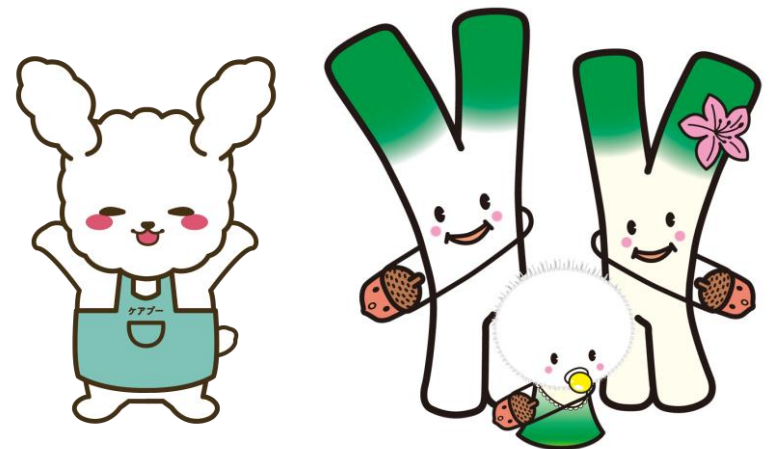
### ■ 法人様に対するアプローチ

- ・ 市HPの周知、個別の勧奨等

### ■ 現地レクの実施

- ・ 事業所(現地)における導入レクチャー

# これから施策を行う自治体の皆様へ



## これから施策を行う自治体の皆様へ

- 全国一律システムの導入意義は大きく、これを無駄にしないためにも、地方自治体として普及促進に取り組む必要性は非常に高いと思います。**規模や運営実態がさまざまな事業所に対し、「柔軟かつきめ細かくフォローする」**ことができるのは、地方自治体の他にないと感じます。
- 普及促進事業の実施にあたり、実効性を高めるポイントは、**「実際にシステムを使う側」の方々に、当事者として事業展開に参画してもらう**ことだと思います。本市の今回の事業では地域包括支援センターとの連携という形式を採用していますが、居宅介護支援専門員協会様など、各地域でさまざまな連携先があるのではと思います。
- 「介護現場の業務効率化・生産性の向上」については、課題意識はありながらも、市町村レベルで一体何をすれば良いか悩んでいらっしゃる自治体さまも多いのではないのでしょうか。(米子市もそうです！)  
ケアプランデータ連携システムの普及促進は、**「システムの存在を知らない事業所にその存在を知ってもらう」「国保連等が示している導入に関する情報・資料を改めて各事業所に周知する」「法人や事業所に導入勧奨の通知を送付する」**だけであっても、**それによって1件でも導入が増えれば前進です。**研修会の開催や、補助の実施などに捉われなくとも、できることは必ずあるはずですよ。  
真っ先に取り組むことのできる「介護現場の業務効率化・生産性の向上」として、強くオススメします！